



オーストラリア・西シドニー大学

A 類理科専修

井坂 有花

留学開始時の学年：2 年

留学期間：2018 年 9 月 16 日～10 月 13 日

初めての憧れのオーストラリアへ

このプログラムを見つけたのは大学の HP でした。大学入学時から 4 年間のうちに長期又は短期でオーストラリアに留学したいと強く思っていました。オーストラリア留学へのこだわりは、中学時代からで、その時は純粋に海外に行きたいという気持ちだけでしたが、高校でカナダへ留学に行き、初めて生で異文化に触れ、自分の範囲外の新しいもの、考え方に触れるのが楽しかったのを覚えています。それからさらに様々な異文化に触れたい、触れ合いたいと思うようになり、多文化社会での共生国であるオーストラリアにさらに魅力を感じるようになりました。

HP でこのプログラムを見つけたとき長期の留学とも本格的に悩んでいましたが、私は語学を学びたいというよりは、様々な文化や価値観に触れたい気持ちの方が強く常にあったので、短期間でも、その新しいものに触れる経験をこれから沢山積みたいと思い、また、金銭的な面、今後の学生生活への影響も考え、夏休み中に行けることもあり、このプログラムに参加を決めました。

学校生活について

西シドニー大学の語学学校に通いました。ここを卒業したら、大学に行く人がほとんどで、大学ではレポートや課題がすべて英語であるため、この学校ではレポートの書き方や論文の読み方、プレゼンの仕方などを主に学んでいました。授業は、日本の一般的な講義形態ではなく、ディスカッションベースで常に周りの人たちと話しているようなラフな雰囲気でした。挙手することもなく、自分の思いついた考えをクラスの人々と共有して考えを深め合いました。





また、様々な国からの留学生がいるため学校全体のイベントで Culture Day なるものがあり、他クラスと合わさって各国の簡単な挨拶、数字、服装などレクチャーし合い、ランチタイムでは母国の料理を作ったり買ったりして持ち寄り party を通して、充実した時間を過ごしました。

休日の生活

平日は学校でみっちり英語と向き合い、休日は息抜きもかねてダウントウンでショッピングや有名な観光地を巡りました。シドニーには、オペラハウスや、ハーバーブリッジ、ちょっと西の方へ行けば、世界遺産のスリーシスターズなど有名箇所が多数あります。私は、オーストラリアに来る 2 週間ほど前までバックパックで東南アジアを巡っていました。その際に、たくさんの絶景、優しい人、ちょっと悪事めいた人、様々なもの、人と出会い、その度に相手と対話し、自分と対話し、自分の心を大きく揺さぶられる経験をしました。そこで、オーストラリアにいるうちにも、そんな経験ができればいいなと思い、毎週末はプチ旅をすることを心掛けました。

中でも印象的だったのはエアーズロックでした。留学前は行く予定はなかったのですが、留学してから知り合った本学の子と、行ってみたいね、できれば登れるといいねとなり、旅行しました。残念ながら、エアーズロック（正式名称ウルル）には登れませんでした。地球のでべそと言われる一枚岩を目の前にして、大地の広さとそれを



を作り上げた自然の力の強大さをただただ感じるばかりでした。このようにして、毎週末のプチ旅は平日の英語漬けのリフレッシュにもなりました。私は、旅好きなのでプチ旅といったようにして息抜きをしましたが、自分が好きなことを現地でもしていただくことをお勧めします。

これからも挑戦の日々

ほんの 1 か月という短い短い留学でしたが、オーストラリアならではの多文化共生国の在り方を垣間見ることができ、日本社会でも多様化する価値観をいかに認め合えるか、認め合えずとも、それが存在することを知っているだけでも自らの相手に対する見方、考え方は変わってくると思います。これからも、様々な価値観、文化に触れ、自分の視野を広げて、日々成長していこうと思います。